

試 作 工 場

1. 運営の基本方針

試作工場は本所の研究・教育活動を支援する共同利用施設であり、本所の活動に必要な機器・装置の設計指導、製作、改修、関連資材の提供、などを主たる任務としている。本工場の運営は、本所工作委員会の指揮の下に行われるが、日常業務は後述する工場内の運営組織により執行されている。

昭和59・60年度の工作委員会において試作工場の将来計画が立案され、運営の基本方針が示された。これに基づき、上記任務のほかに、各研究室が行う研究用機器・装置の外注の支援、関連するさまざまな情報の提供など、ソフト面でのサービスの充実にも積極的に取り組んでいる。更に、昭和61年度より、利用料金の積立て方式を採用して利用者負担により設備の更新・充実を図る道が開かれ、現在この方向で新たな展開を図りつつある。

2. 人員・設備・経費・組織の概要

(1) 建 物：別棟の本工場に施盤室・板金工作室・仕上工作室・電子部品室などのほか受付設計室・事務室・会議室・職員控室・材料庫などがある。また、本館内に木工工作室・ガラス工作室がある。別に共同利用工作室があるが、昭和63年度中には本工場に統合する予定である。

(2) 職員構成：職員数は、昭和63年度現在、第1表のとおりである。なお、併任の工場長はこの数には含まれていない。

(3) 機械設備：本工場は、小型の精密測定器から大型の鉄骨構造物に至るまで広範囲の研究用機器装置の製作が可能な程度に、各種の機械設備を保有している。その概略を第2表に示す。

第1表 試作工場人員構成

職 種	人 数
副 工 場 長	助 手 1
受 付 ・ 設 計 ・ 材 料 庫 室	技 官 3
機 械 工 作 場	技 官 11
木 工 工 作 室	技 官 1
ガ ラ ス 工 作 室	技 官 1
共 同 利 用 工 作 室	技 官 1
電 子 部 品 室	技 官 1
業 務 掛	掛 長 1
合 計	20

(4) 年間経費：年間経費の推移を第1図に示す。実線は、経常経費、破線は臨時経費である。近年、経常経費は、年間1,700万円程度であるが、このうち運営費として本所より配当を受けているのは10%程度であり、他は利用料金収入で賄っている。

(5) 運営組織：工場長・副工場長の下に、各工作室主任、業務掛長が置かれている。日常業務は副工場長・工作室主任・技術職員による設計・工程会議、副工場長・工作室主任・業務掛長による運営委員会および工場長以下全員による工場総会などによって運営されている。

3. 稼動状況

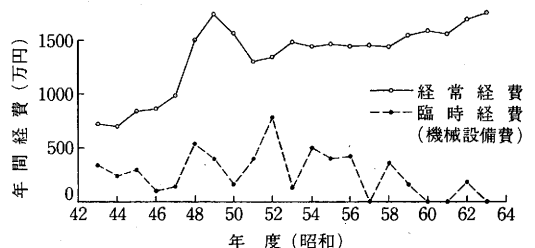
現在のところ、研究部からの発注のうち若干を外注に回す程度で、ほぼ能力一杯に正常運行を行っている。利用者も特定の研究部に偏ることなく適正に分布しており、所内の共同利用施設としての機能を正常に果しているものと思われる。

4. 今後の課題

試作工場としての必要不可欠な機能、設備の適正規模、人員の適正配置、利用者負担のあり方など、他の共同利用施設と調和を図りつつ検討すべき問題がある。また、定員削減への対応、特殊技術者の処遇、熟練技術者の補充なども今後の大きな問題である。

第2表 試作工場の主な機械設備

工 種	台数	備 考
機 施盤工作室	10	各種施盤
機 仕上工作室	15	MC立フライス盤、プレイナー、立・横フライス盤、ほか
工 板金溶接室	8	電気・ガス溶接機、各種折曲機、ほか
場 材料庫室	6	シャー、帯鋸盤、砥石切断機、ほか
木 工 作 室	6	丸鋸盤、自動かん盤、ほか
ガラス工作室	6	ガラス施盤、超音波加工機、ダイヤモンドカッター、ほか
共同利用工作室	7	施盤、立・横フライス盤、ほか
電子部品室	22	シンクロスコープ、デジタルマルチメータ、ほか



第1図 試作工場年間経費の推移